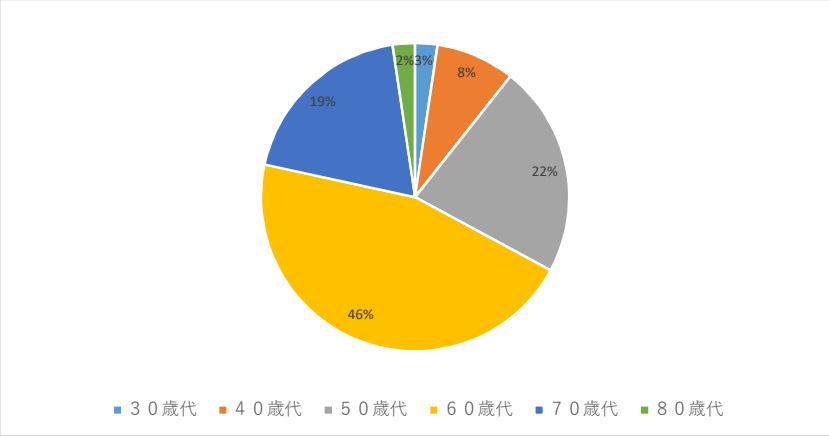
佐賀市農業振興基本計画の見直しに伴う農区員アンケート

回答件数301件

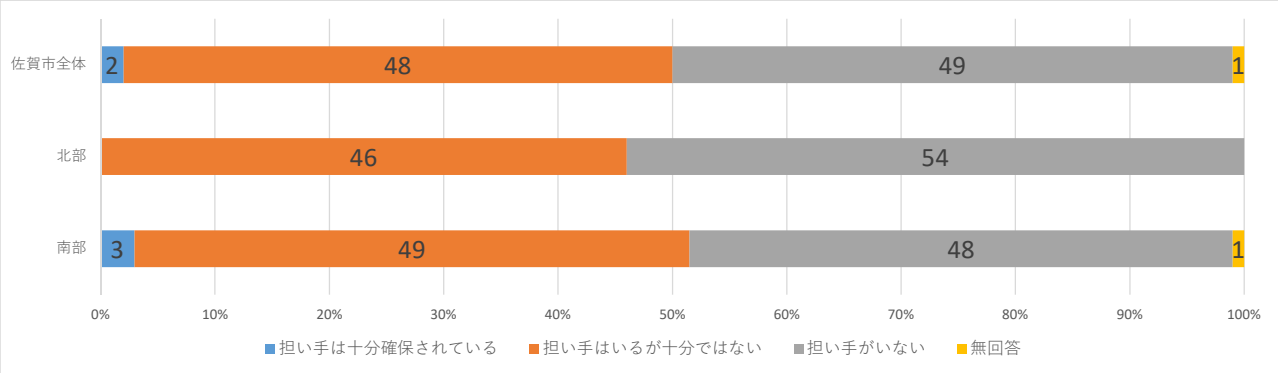
参考資料1

年齢

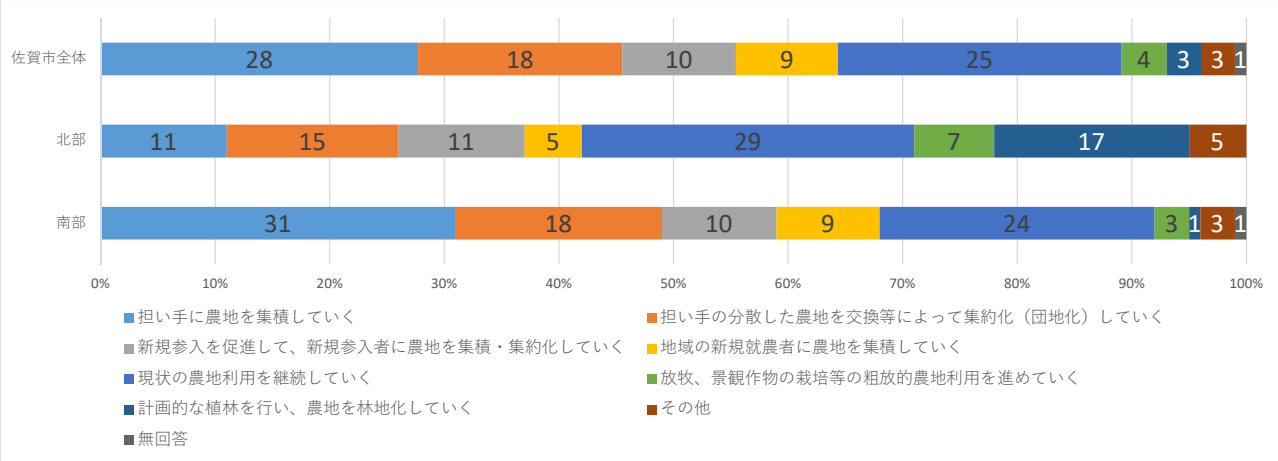


Ⅰ　あなたの集落・地域のことについて、おたずねします。

Q1　あなたの集落・地域では、将来の地域農業の担い手が確保されていると思いますか。（一つのみ選択）



Q2　あなたの集落・地域において、将来どのように農地を利用していくべきだと思いますか。（複数回答可）



その他

●北部中山間地域

・地域内の優良農地を維持管理する組織づくりが必要

・地域の集団的な営農組織を樹立していく

・葉っぱ事業(榊、紅葉、山叔等)

・担い手を確保したいが山間部で利益が上がりにくいのでむずかしい。個人で機械等を維持していくのも困難な状況。

●南部平坦地域

・利用増進田で白地になるような農地は所有者に管理又は処分して頂く

・農業法人にあずける

・担い手がいないので、小さい農業で兼業農家が可能な制度作りも必要

・場所的にできない農地がある

・集約と共に、面積の大型化(作業効率の上昇)

・圃場整備、地域外の農地(白地青地)の件

・営農組合を法人化することにより対応していく

・人々が集まる様な状況を作り出す考える。

・区画整理で、集落に農地がない。他の地区へ出作。

・宅地化

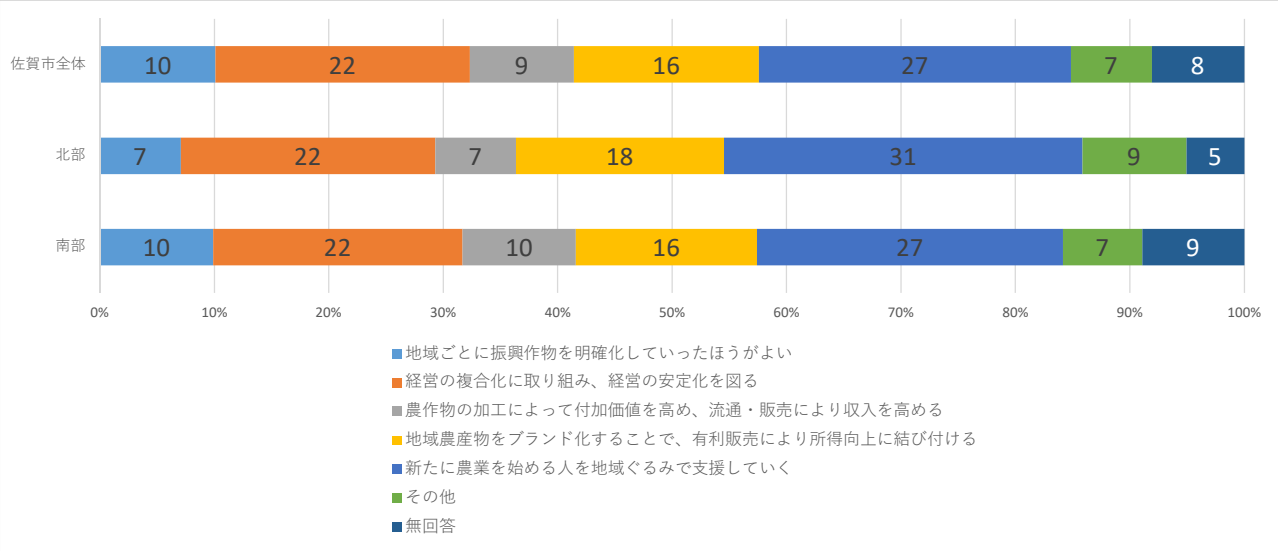
・新規参入や担い手に農地を託すにも収益が図れなければ農地利用はできない

・農地利用は十分だが、水路掃除などボランティアが多く、農地水などを継続していく。

・平担地の林地化は困難と思われるが、雑草雑木に覆われた農地にしない工夫が必要

・営農組合として、農地の集積化は出きていると思うので、出来れば地域として新規就農者を募り育てていきたい。

Q3　今後、あなたの集落・地域の農業経営をどのようにしていくべきだと思いますか。

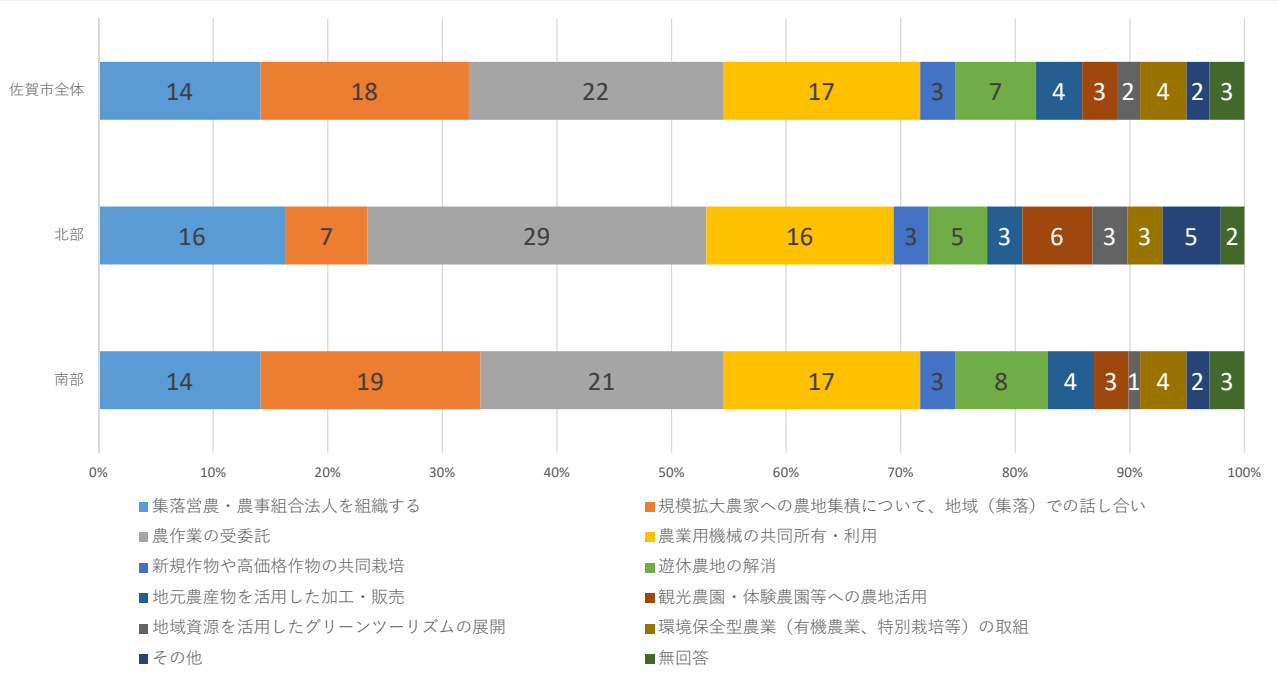


その他

●南部平坦地域

・やめる
・研修会等の回数を増やし、生産、流通への意識向上を図る
・外部要因に左右されない経営(補助金に頼らない)
・営農組合の法人化により対応していく。
・補助金に頼らない農業経営
・農業法人にまかせる。
・機械の共同化、作業の集団化
・農作物の輸入を抑え自給率を高くして農業で食える政策をしないと、農業者は減少しますよ
・収穫時の人員確保をどうするのか(カントリーでは荷受日や日数が限られており）収穫と運搬で人手が足りない状況があるため
・生産者に作る作物、面積を自由化しスマート農業を取り入れながら農業への労働レベルを年平均化していく

Q４　現在及び近い将来、地域（集落）を中心に取り組むべきことは何だと思いますか。（複数回答可）



その他

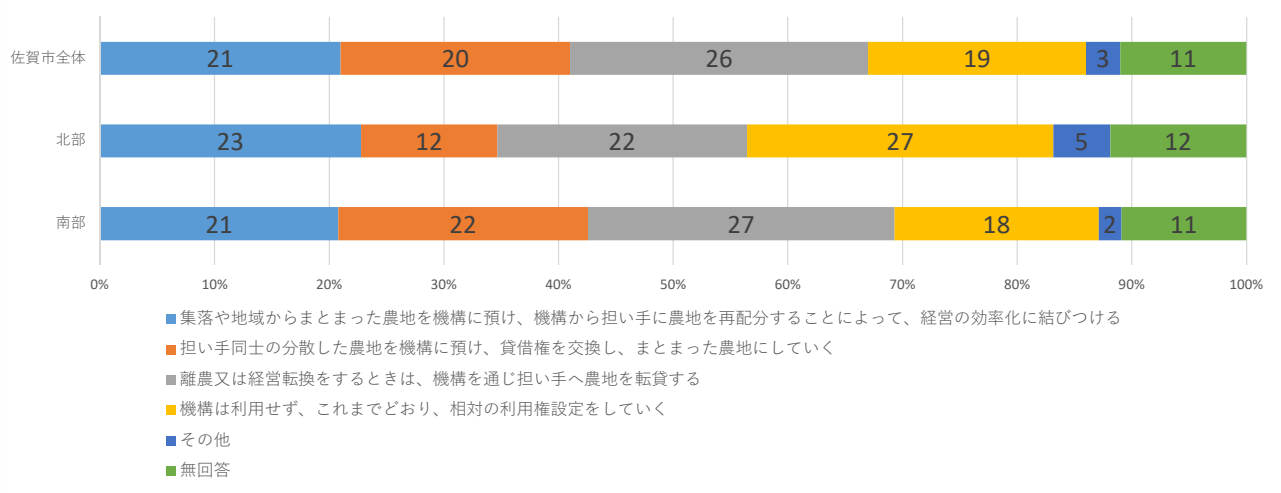
●北部中山間地域

・現在のまま農業を行う
・広域化

●南部平坦地域

・使われなくなった農地を農地以外の使用をできるように
・集落を中心に取り組むべきという考えは見直した方がよい
・売れる商品、付加価値がある商品を作る為には地域の連獲、一体化
・八尻川ぞいに河川公園を作ってはどうか
・補助対象拡大(法人構成員のトラクター購入時)
・個人が頑張るしかない
・営農組合を法人化する

Q5　あなたの集落・地域において、今後、農地中間管理機構をどのように活用すべきだと思いますか。（複数回答可）



その他

●北部中山間地域

・機構を利用しようとしても担い手がいないのでは?

・中山間地では機構は機能出来ないとの事

●南部平坦地域

・農地中間管理機構は借手、出し手の合意のみ作業している。両方とも登録し、あっせんしてほしい

・農地の形状、収量の増減、土質の差等、機構はただ転貸するだけでなく、農地の評価を貸借料に反映してほしい

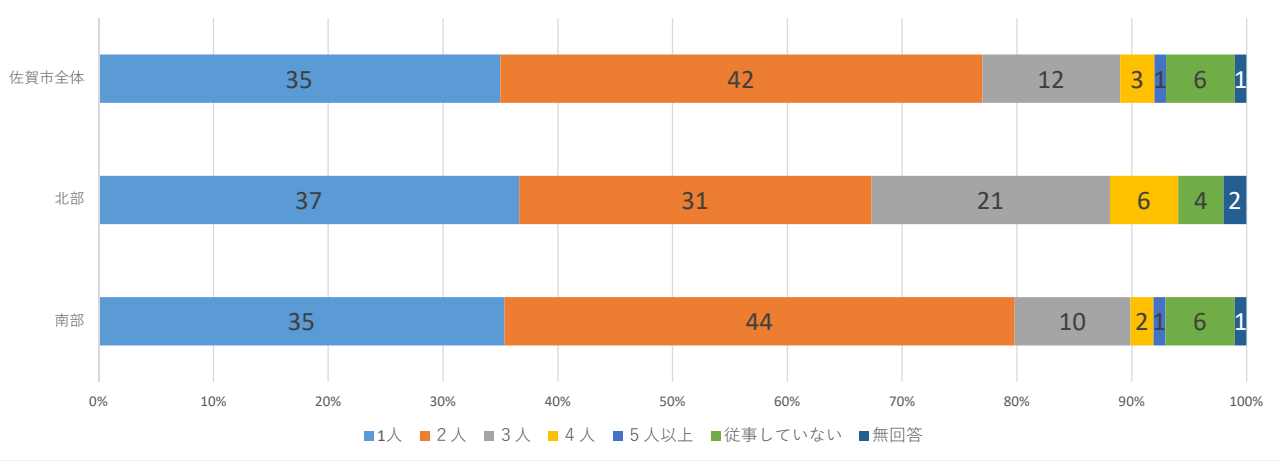
・担い手がいない。

・果樹栽培では農業中間管理機は機能しない。

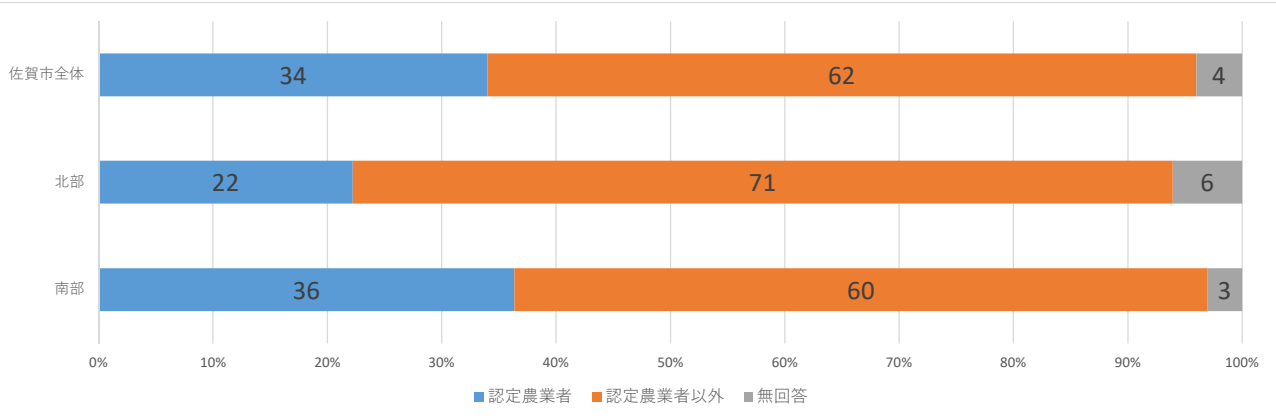
・地域と無関係の農家が耕作する可能性があり、地域でのしきたりや人間関係に不安がある為なかなか利用したいとは思わない人が多いと思います。

Ⅱ　あなたご自身の農業経営について、おたずねします。

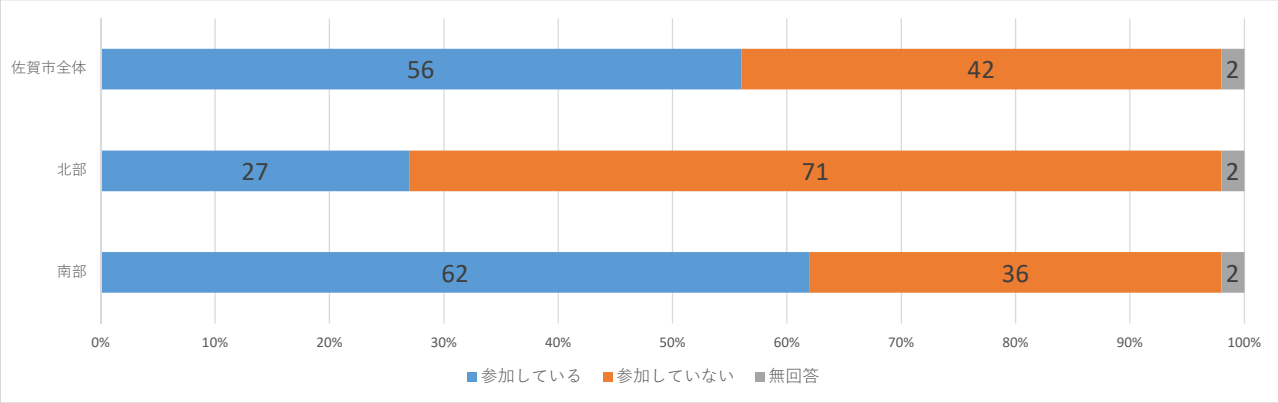
Q６　あなたを含め（家族で）農業に従事している人は何人ですか。（一つのみ選択）



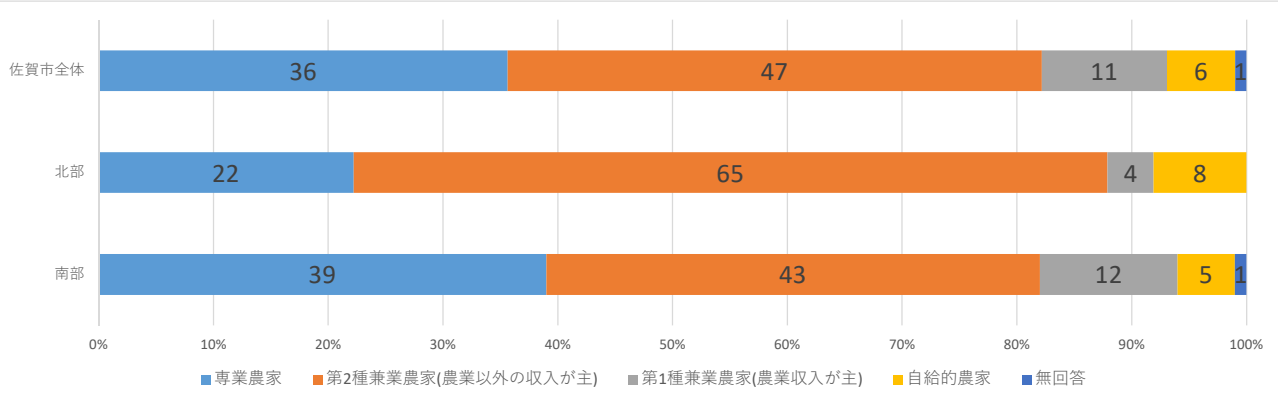
Q７　あなたは認定農業者（家族を含む）ですか。（一つのみ選択）



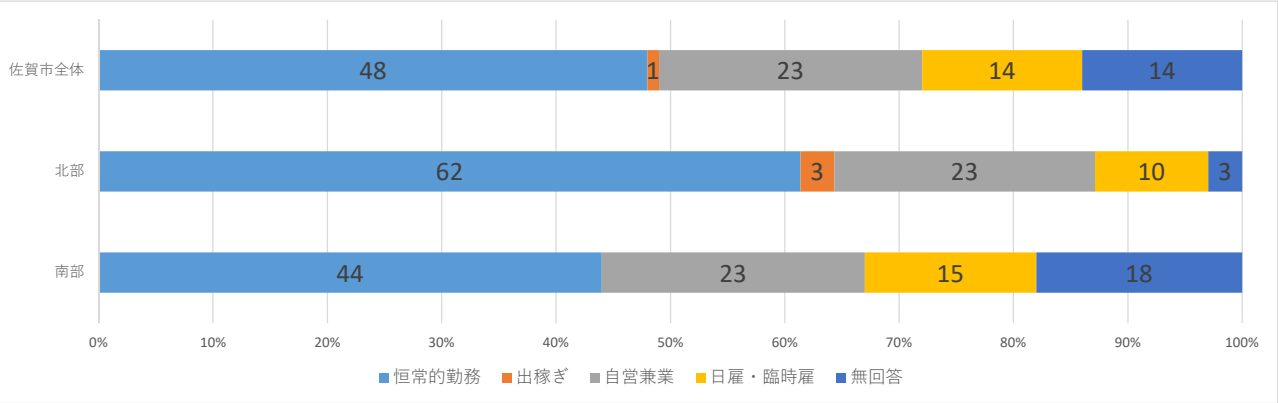
Q８　あたなは集落営農・農事組合法人に参加していますか。（一つのみ選択）



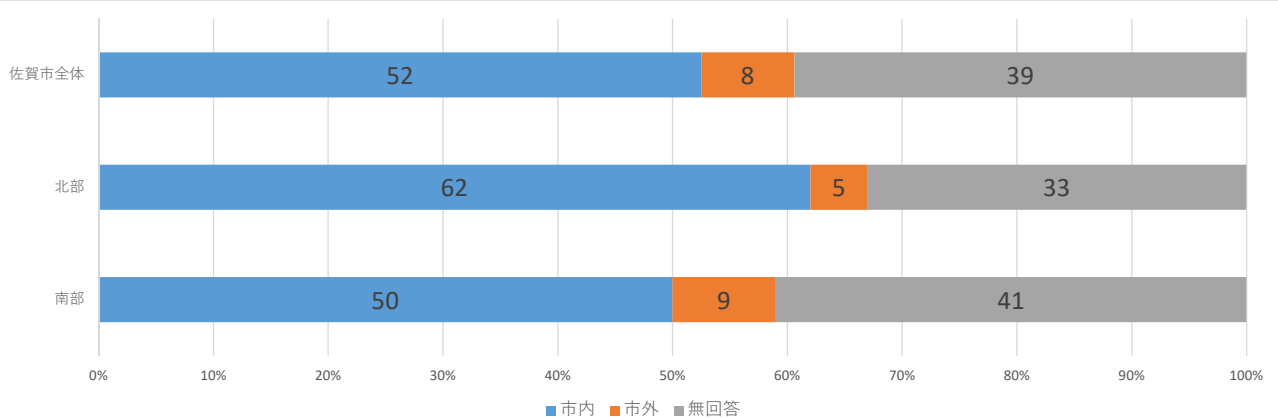
Q９　あなたの家の農業形態はどれにあてはまりますか。（一つのみ選択）



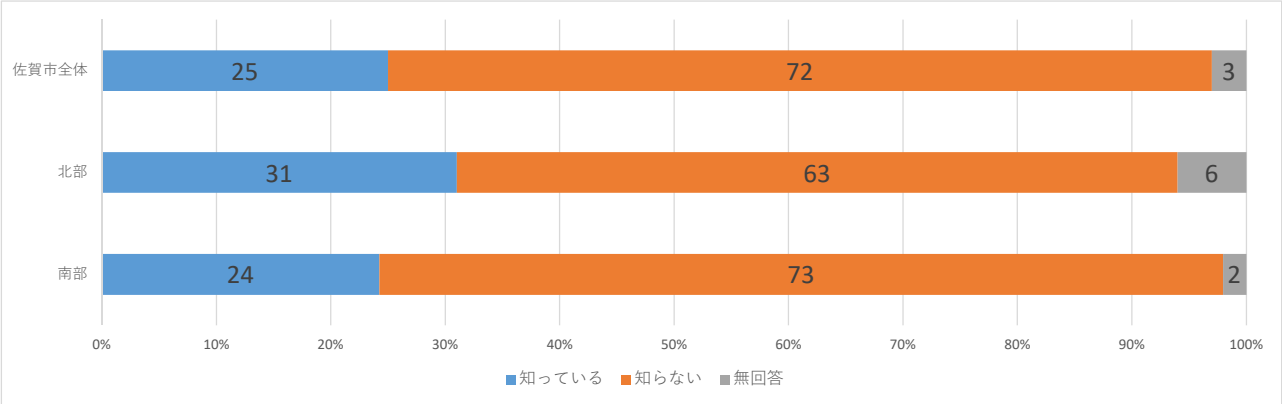
Q１０　あなたの農業以外の産業への就業形態はどれですか。（Q9で『専業農家』以外を選択した人のみ回答）



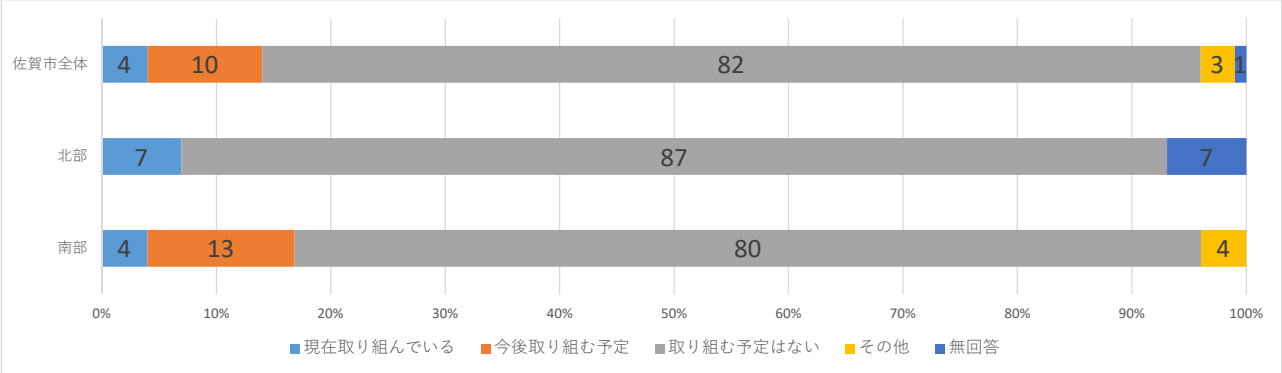
また、勤務先は市内・市外のどちらですか。（一つのみ選択）



Q１１　「農福連携」という言葉を知っていますか。（一つのみ選択）



Q１２　農福連携の取組状況について教えてください。（一つのみ選択）（Q１１で『知っている』を選択した人のみ回答）



その他

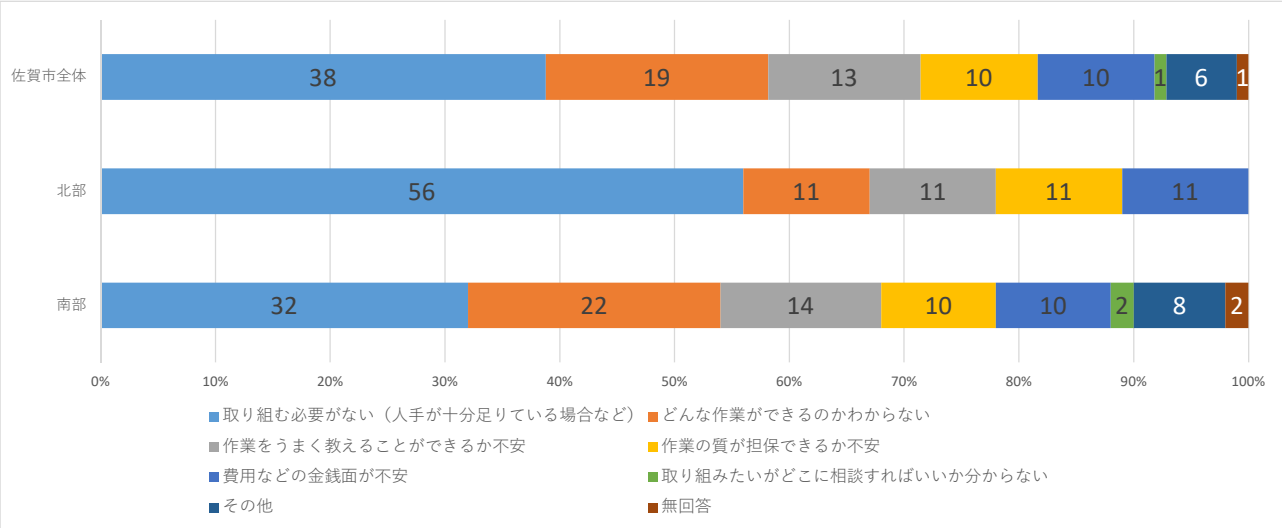
●南部平坦地域

・取りくまれるなら取り組みたい(田植前のアゼシート張り、大豆草取り等)

・経過をみて検討したい

・取り組みたい

Q１３　農福連携に取り組まない理由を教えてください。（複数回答可）（Q１２で『取り組む予定はない』を選択した人のみ回答）



その他

●北部中山間地域

・現在、採算性が乏しい状況であるため

・現在のまま

●南部平坦地域

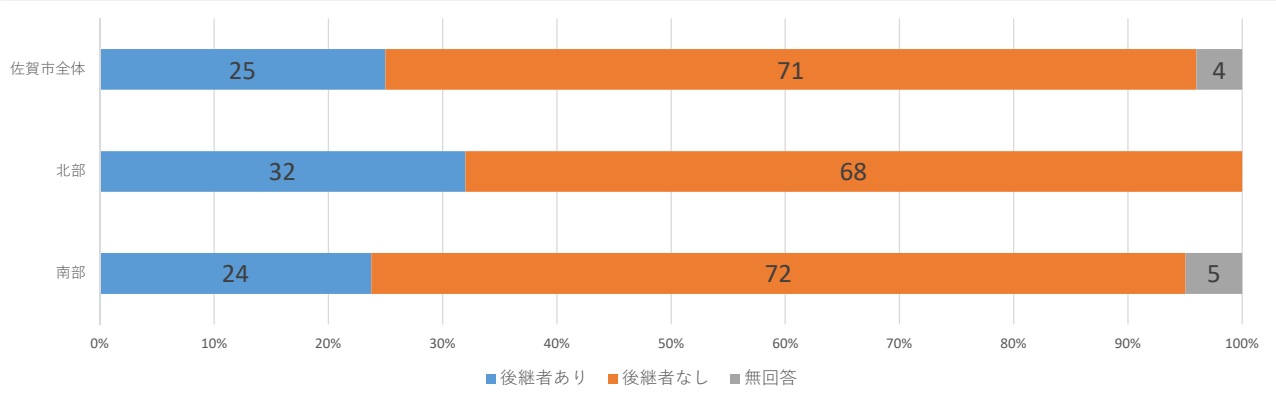
・高齢のため

・今は取組む時期ではない

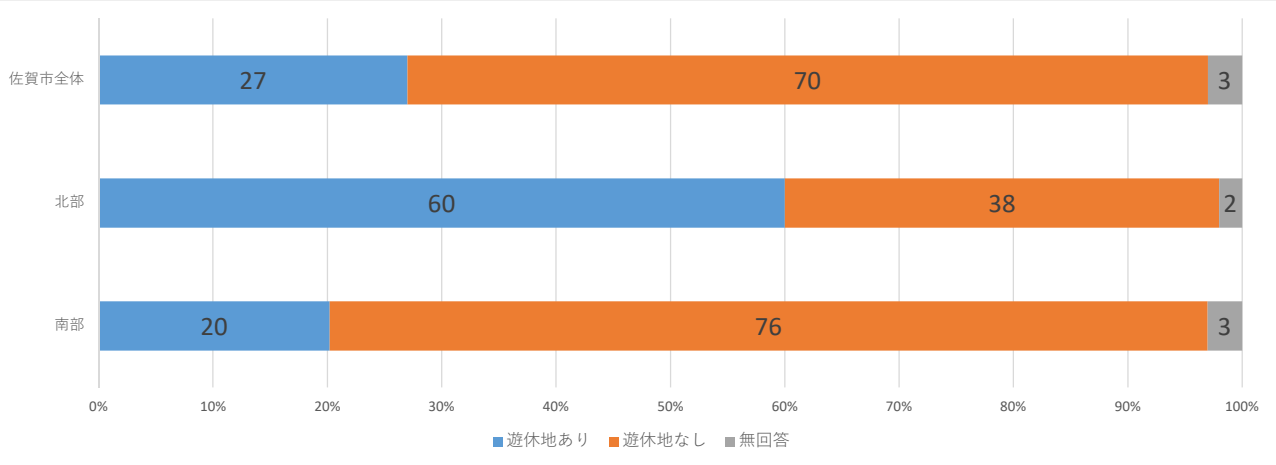
・障がい者を管理する人が別に必要である。

・規模が小さいから。

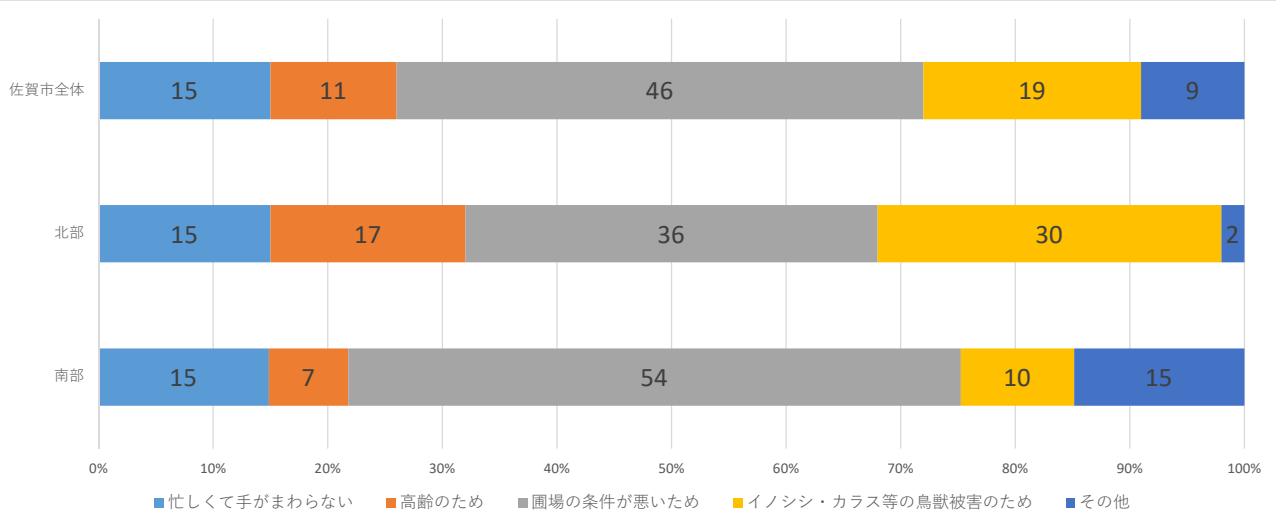
Q１４　後継者はいますか。（一つのみ選択）



Q１５　あたなの農地に「遊休農地」がありますか。（一つのみ選択）



Q１６　遊休農地がある理由は何ですか。（複数回答可）（Q１５で『はい』を選択した人のみ回答）



その他

●北部中山間地域

・圃場が遠い

・水不足

●南部平坦地域

・農作業を委託するから

・周囲が遊休地

・果樹園だったが、手がまわらなくなった

・病気の為

・イノシシを減らしてもらいたい

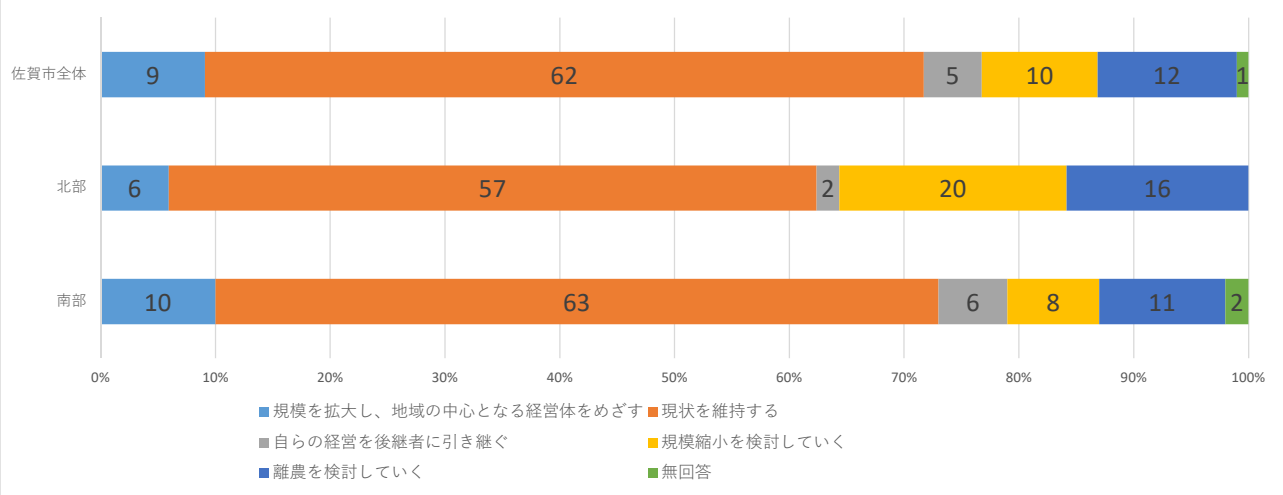
・ハウス撤去跡地

・農道に接してない水田、急傾斜の畑

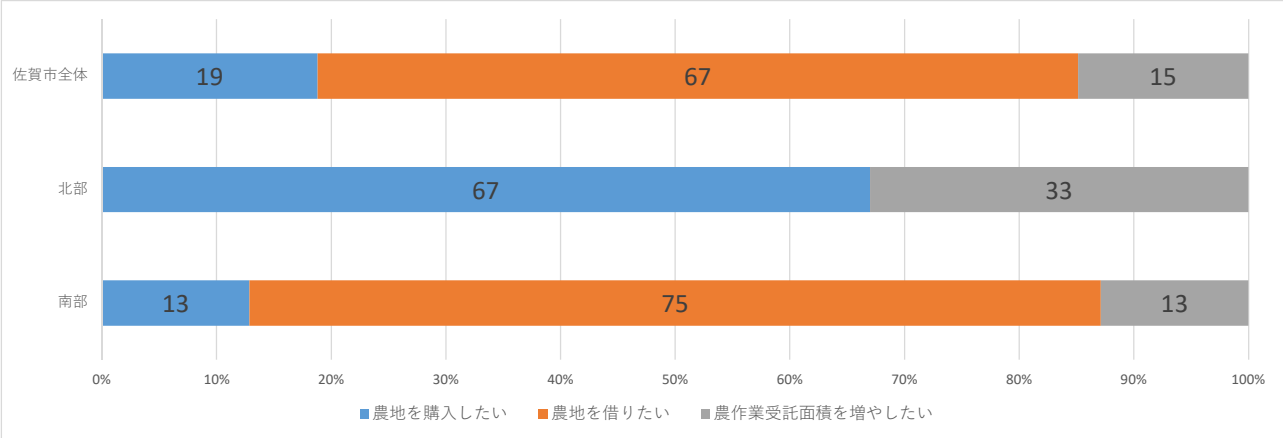
・農業以外の仕事をしている。(会社員)

・周りが宅地の為農作業はできない。トラクターさえ迷惑がられる。

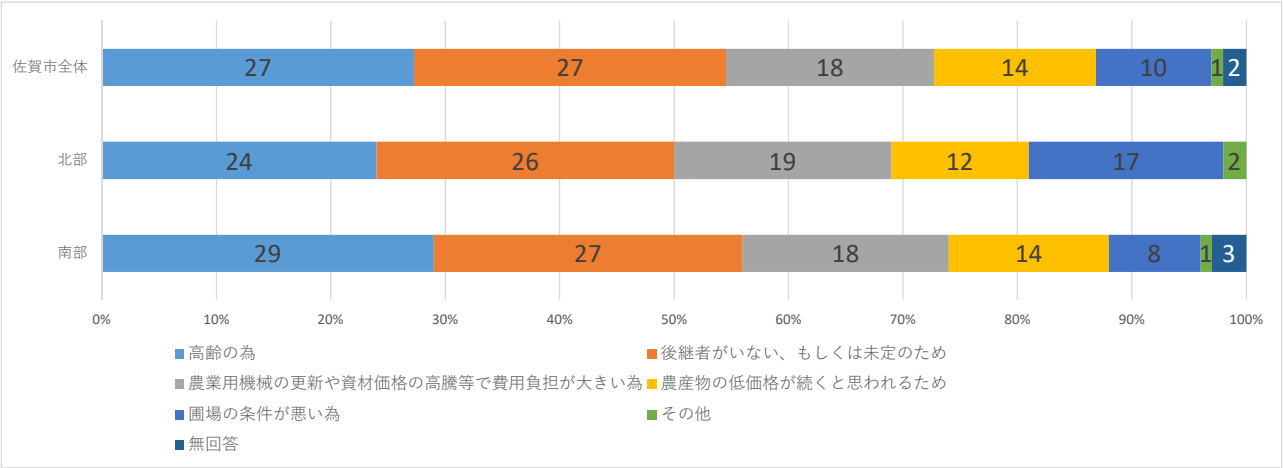
Q１７　あなたは、今後５年以内の農業経営をどのようにしていく予定ですか。（一つのみ選択）



Q１８　規模を拡大する場合、どのような方法をお考えですか。（一つのみ選択）
（Q１７で『規模を拡大し、地域の中心となる経営体をめざす』を選択した人のみ回答）



Q19　規模縮小、離農を検討している理由は何ですか。（複数回答可）
（Q１７で『規模縮小を検討していく』又は『離農を検討していく』を選択した人のみ回答）



その他

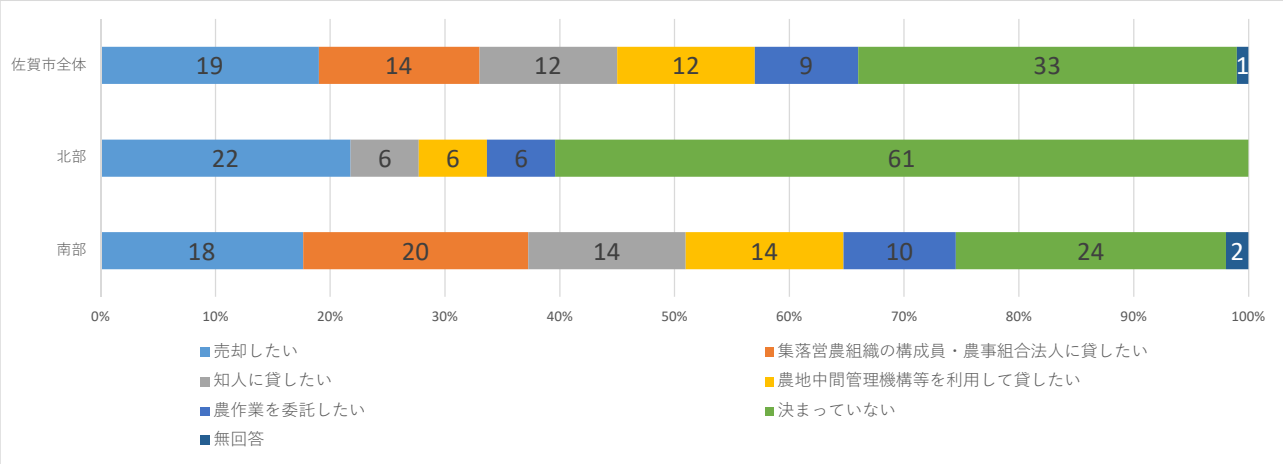
●北部中山間地域

・特に農業用機械の維持に苦労している。

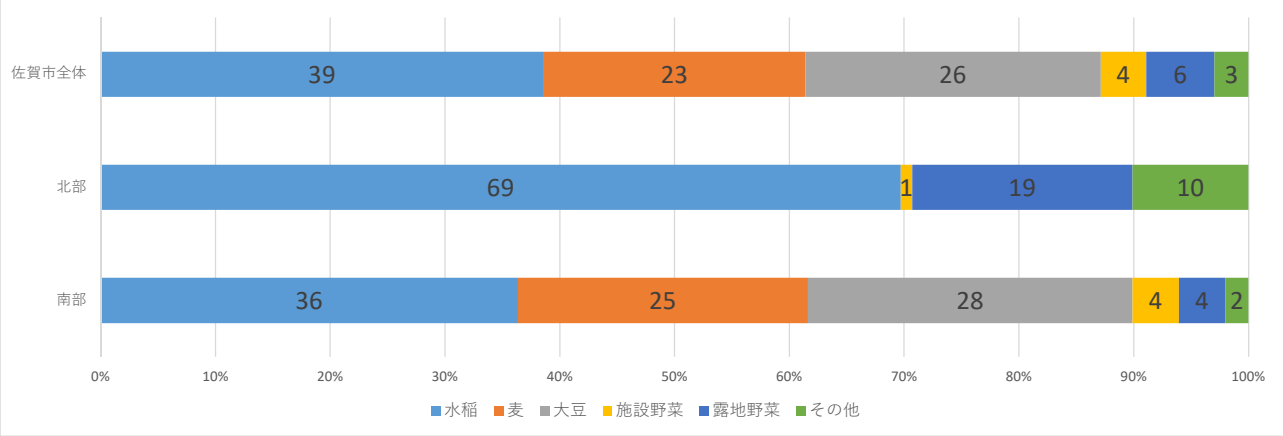
●南部平坦地域

・病気とイノシシの被害が多い為

Q２０　規模縮小、離農する場合、農地をどのようにしたいとお考えですか。（一つのみ選択）
（Q１７で『規模縮小を検討していく』又は『離農を検討していく』を選択した人のみ回答）



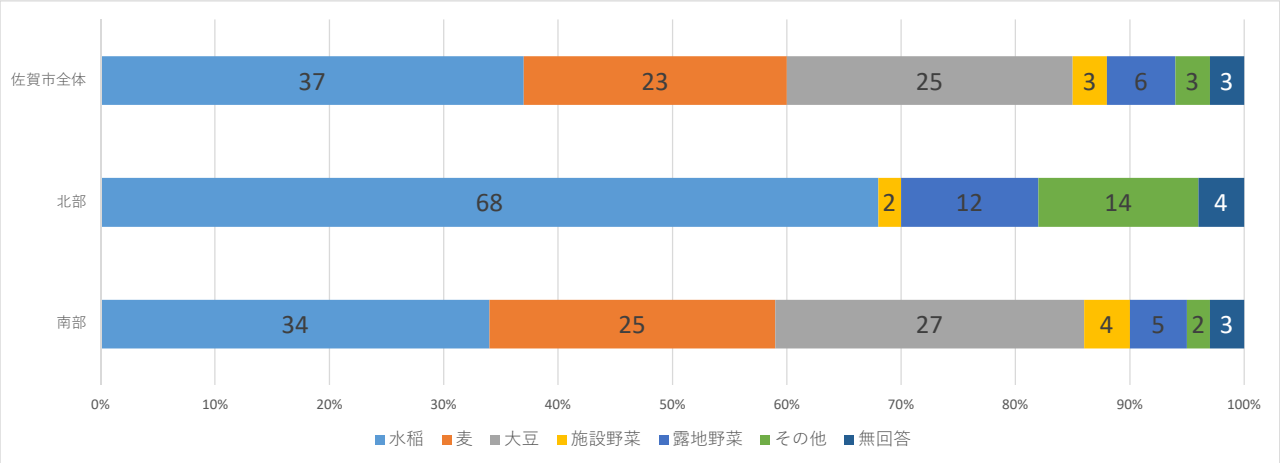
Q２１　あなたが現在生産している農産物は何ですか。（複数回答可）



その他
●北部中山間地域
・果樹、柿、シイタケ、干柿（生産～加工～販売まで）

●南部平坦地域
・果樹、みかん、なたね、筍

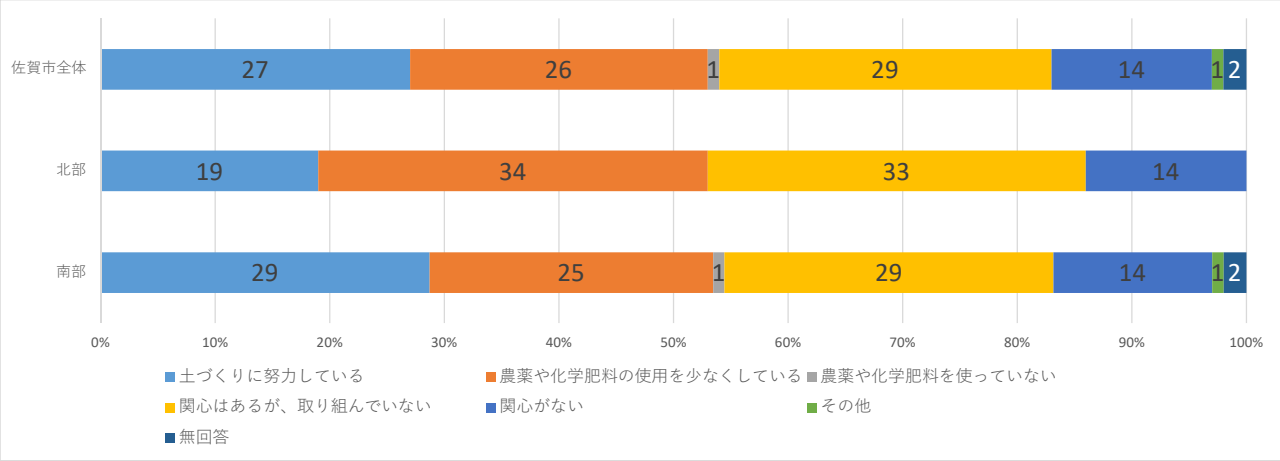
Q２２　あなたが将来生産したい（継続したい）農産物は何ですか。（複数回答可）



その他
●北部中山間地域
・果樹、キノコ、柿、干柿（生産～加工～販売まで）

●南部平坦地域
・果樹、みかん、なたね、筍

Q２３　環境保全型農業（有機栽培、特別栽培等）の取り組みについてお伺いします。（複数回答可）



その他

●南部平坦地域

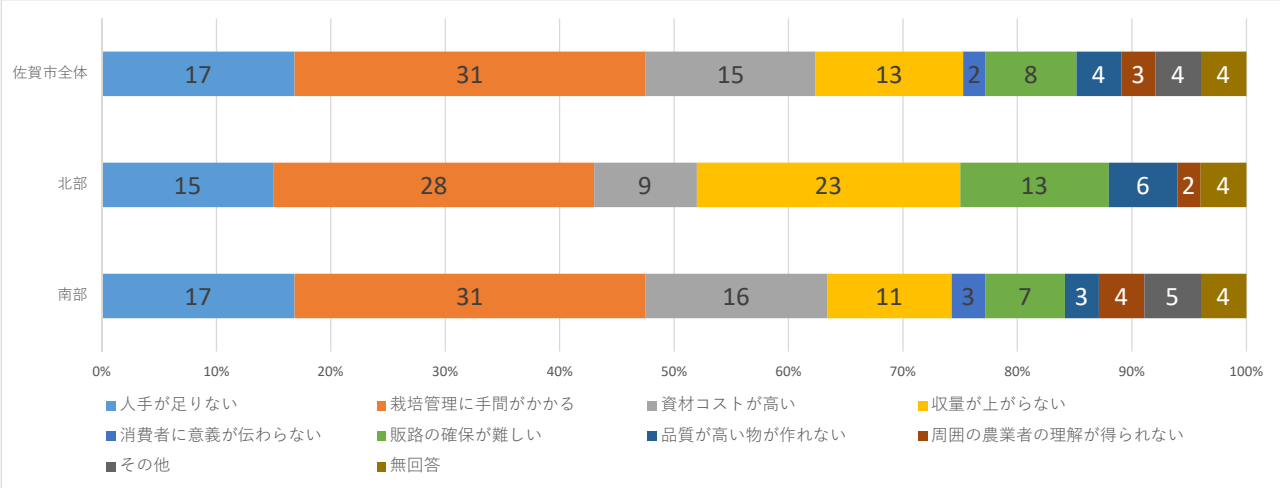
・回答策とは逆で有機・化学肥料といった物は必要だと思う。

・カントリーエレベーター利用組合の方針

・自家用は無農薬、出荷分は農薬使用

Q２４　環境保全型農業に取り組まない・関心がない理由は何ですか。（複数回答可）

（Q２３で『関心はあるが、取り組んでいない』又は『関心がない』を選択した人のみ回答）



その他

●南部平坦地域

・高齢のため

・内容が不明でJA指導からの具体案等が不明

・今は付加価値の向上より、生産性の向上に重きを置いている。

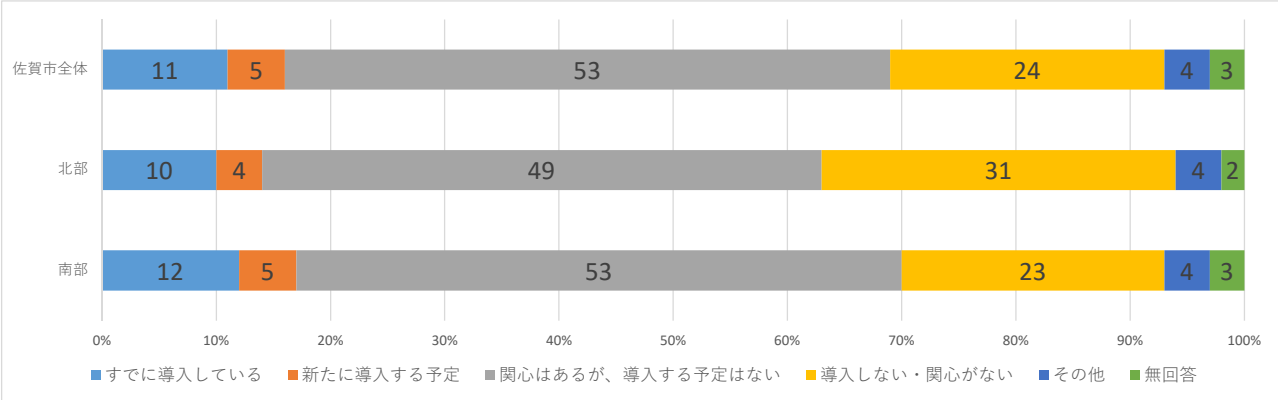
・費用対効果が悪いと感じる。

・関心があるだけである

・販売価格がほとんどかわらない

・カントリーでは作れない

Q２５　スマート農業機器の導入についてお伺いします。



その他

●北部中山間地域

・ドローン防除を他団体と契約し、集落（中山間直接）で実施

・スマート農業機器が理解出来てない

●南部平坦地域

・導入、関心はあるがコスト面に問題有

・高齢・後継者がいないため導入予定なし

・小規模のため、コストがつりあわない。

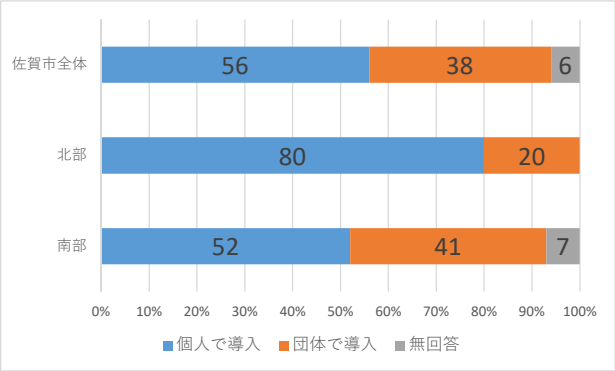
・どういうのか分からない。

・法人組織に加入

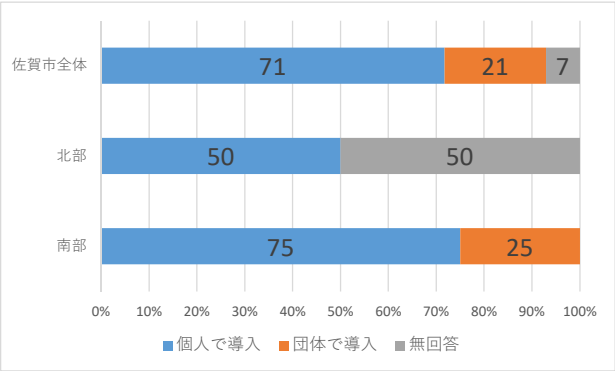
・関心はあるが、補助がないと導入は難しい

・規模に対応していない

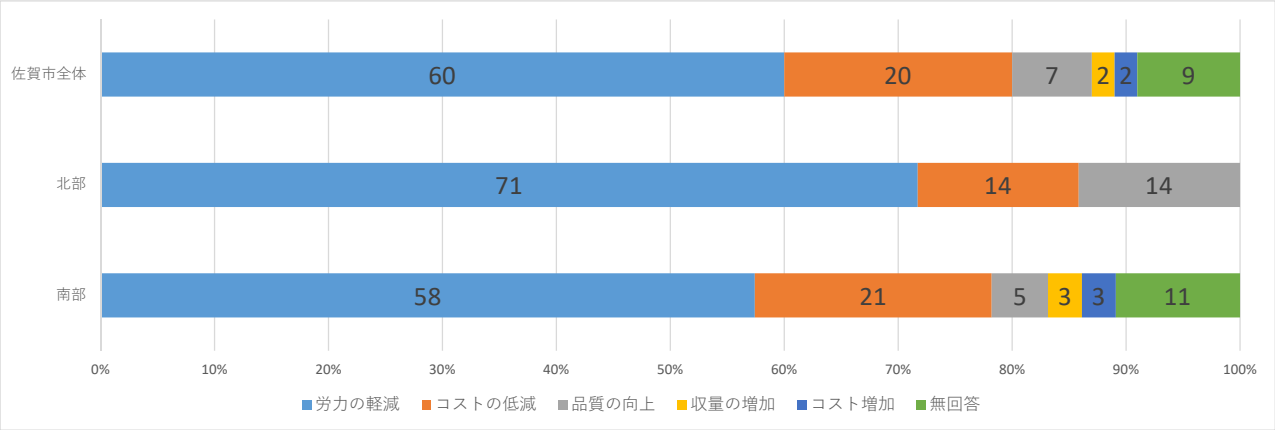
すでに導入（個人・団体のどちらか）



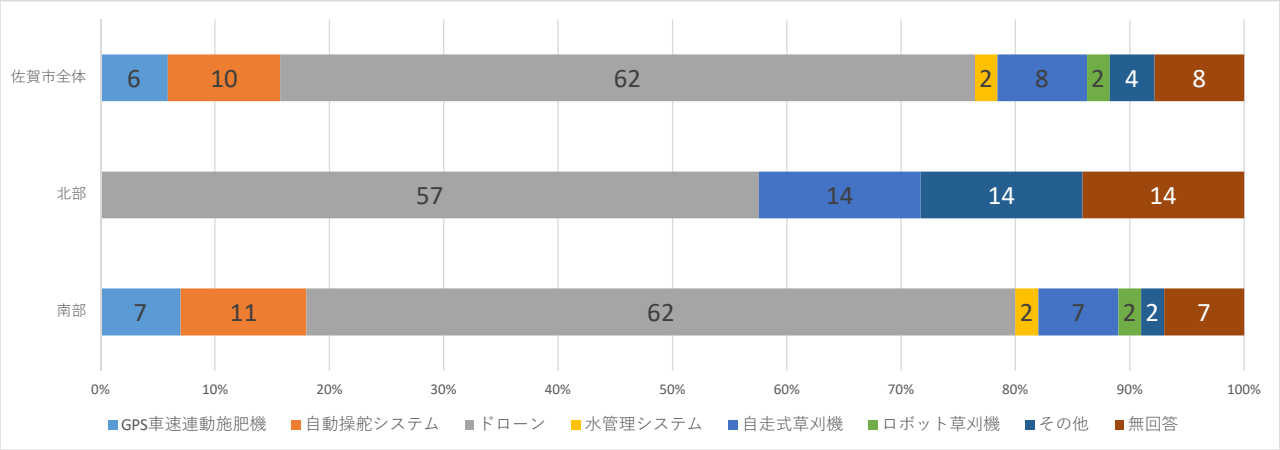
導入予定（個人・団体のどちらか）



Ｑ２６　スマート農業機器を導入したことによる効果・影響は何ですか（複数回答可）
（Ｑ２５で『すでに導入している』を選択した人のみ回答）



Ｑ２７－①　すでに導入したスマート農業機器は何ですか。（複数回答可）（Ｑ２５で『すでに導入している』を選択した人のみ回答）



その他

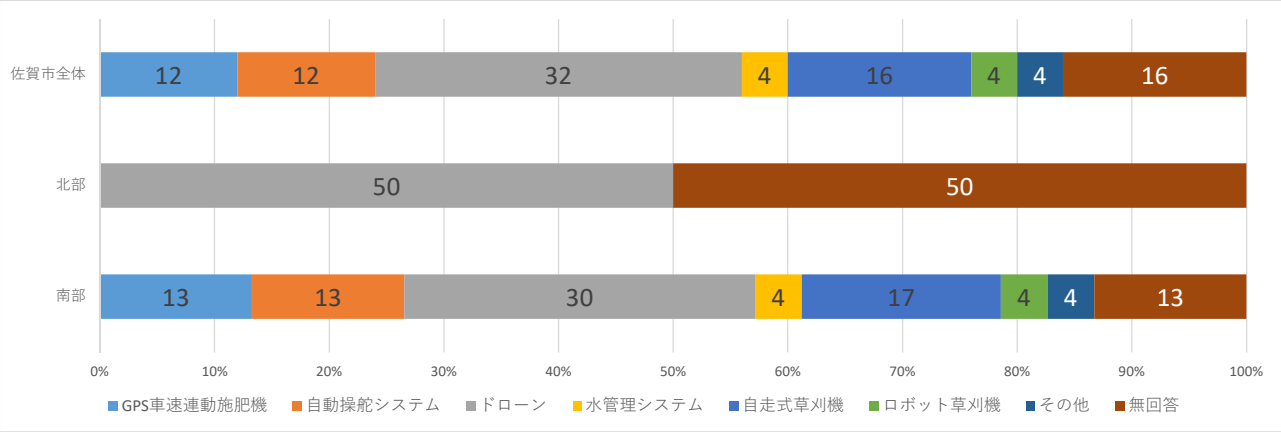
●北部中山間地域

・ハウス内環境みえる化(データ化)、草刈機

●南部平坦地域

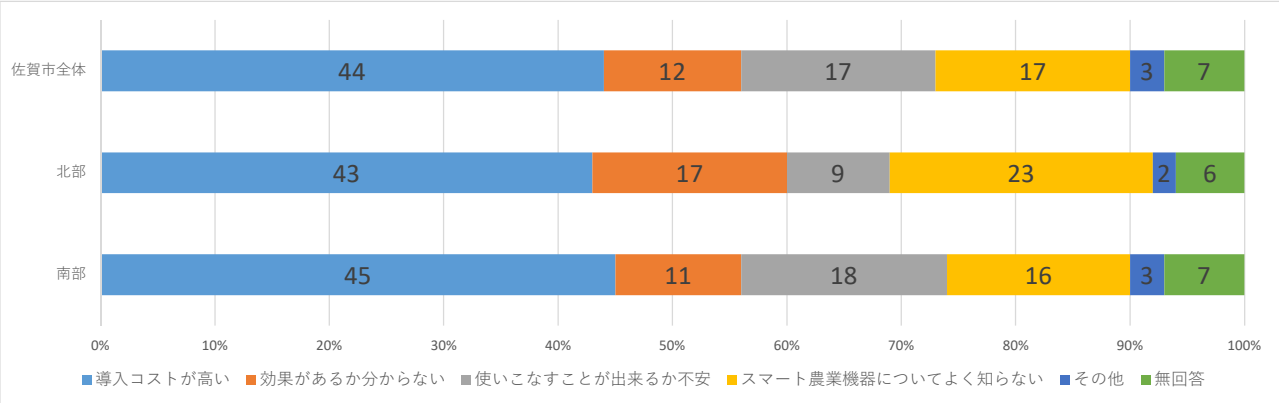
・環境制御装置

Q２７－②　新たに導入予定のスマート農業機器は何ですか。（複数回答可）
（Q２５で『新たに導入する予定』を選択した人のみ回答）



その他
●南部平坦地域
・田植機

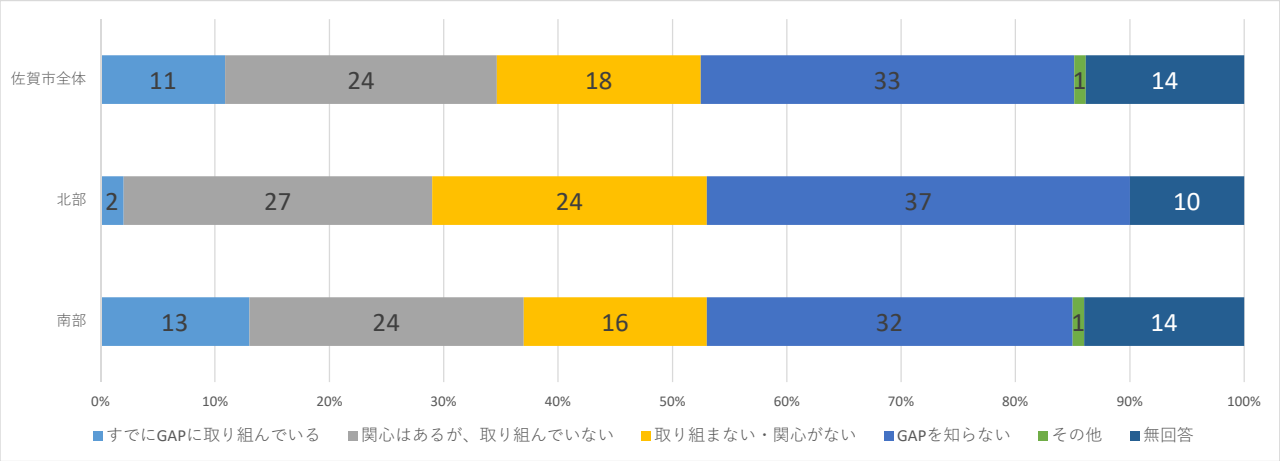
Q２８　スマート農業機器を導入しない・関心がない理由は何ですか。（複数回答可）
（Q２５で『関心はあるが、導入する予定はない』又は『導入しない・関心がない』を選択した人のみ回答）



その他
●北部中山間地域
・スマート農業機器導入出来る状況でない

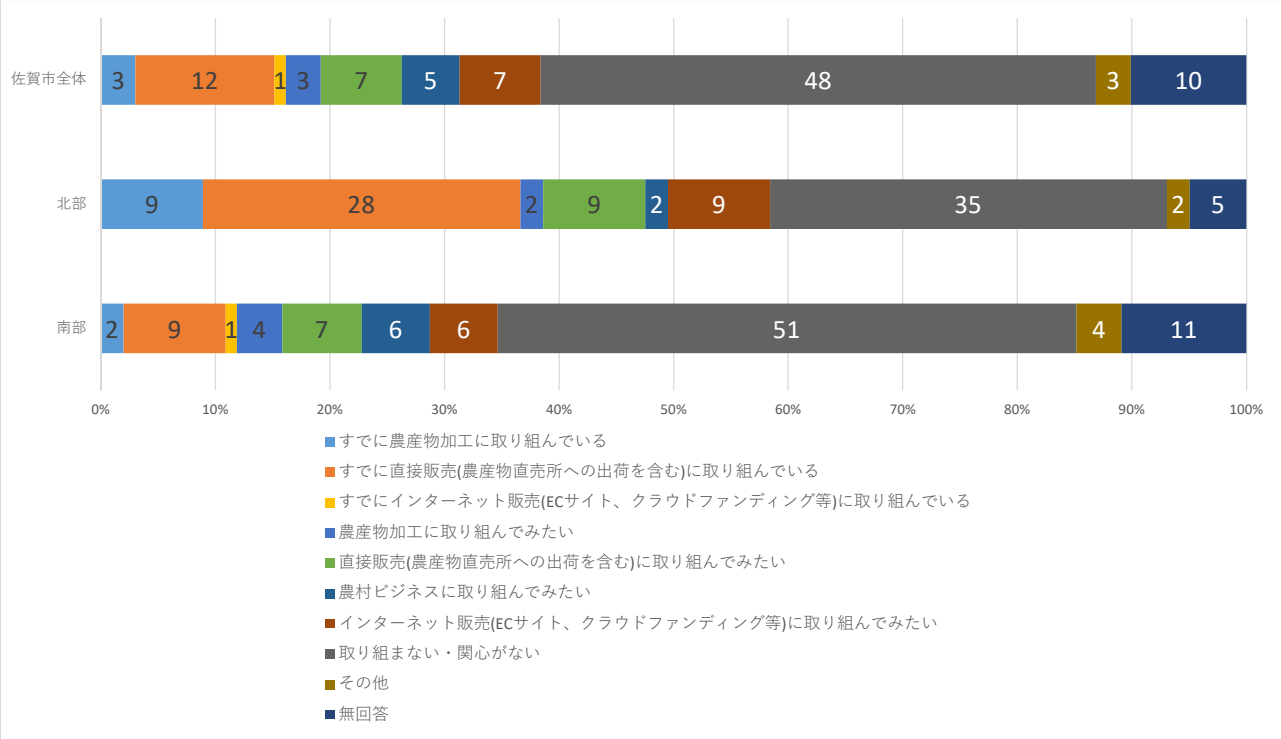
●南部平坦地域
・担い手がいない
・法人組織に加入
・機器の値段が高い。
・小規模農家のため
・面積が小さい。段差が大きい。(各1枚ごとの)
・現在の自作地てはコスパが合わない
・現状、へり防除に委託しており困っていないため(集落営農でドローン導入協議があればかわる可能性がある)

Q２９　GAP（農業生産工程管理）の取り組みについてお伺いします。（複数回答可）



その他
●南部平坦地域
・高齢の為　　・以前取り組み済　　・30アールしかない。

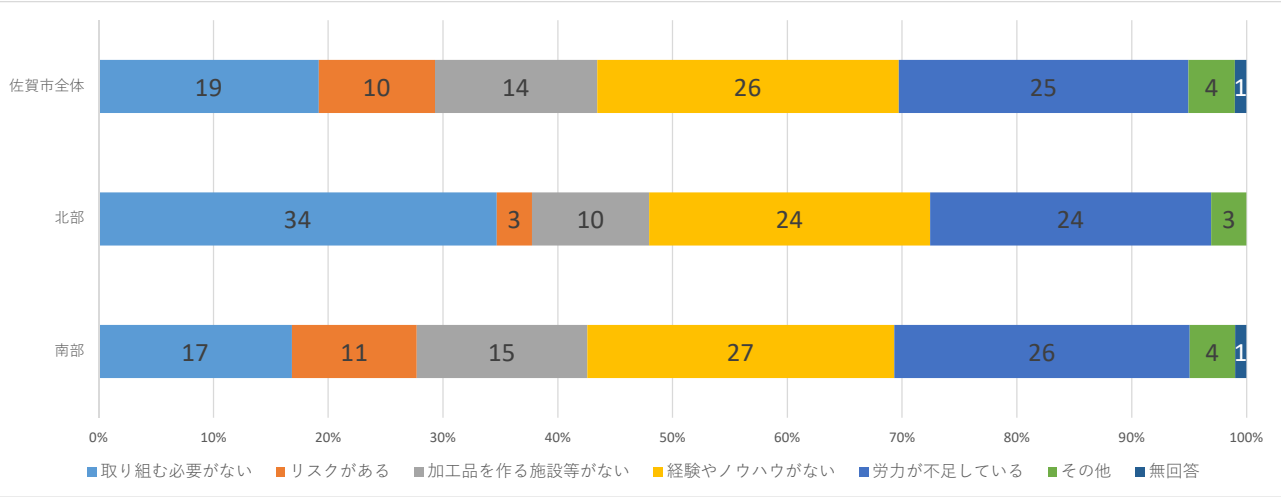
Q３０　あなたが今後取り組んでみたい６次産業化や農村ビジネスについてお伺いします。（複数回数可）



その他
●北部中山間地域
・松梅地区の干柿は原料を買い入れており国の６次化認定は不可！

●南部平坦地域
・薬草の栽培、抗アレルギー米の栽培
・全量JA出荷の為
・母が高齢の為、介護が必要になってきている為、取り組めない
・知識不足による不安
・若いと6次化はしたいが80以上では?

Q３１　６次産業化や農村ビジネスに取り組まない・関心がない理由は何ですか。（複数回答可）
（Q３０で『取り組まない・関心がない』を選択した人のみ回答）



その他

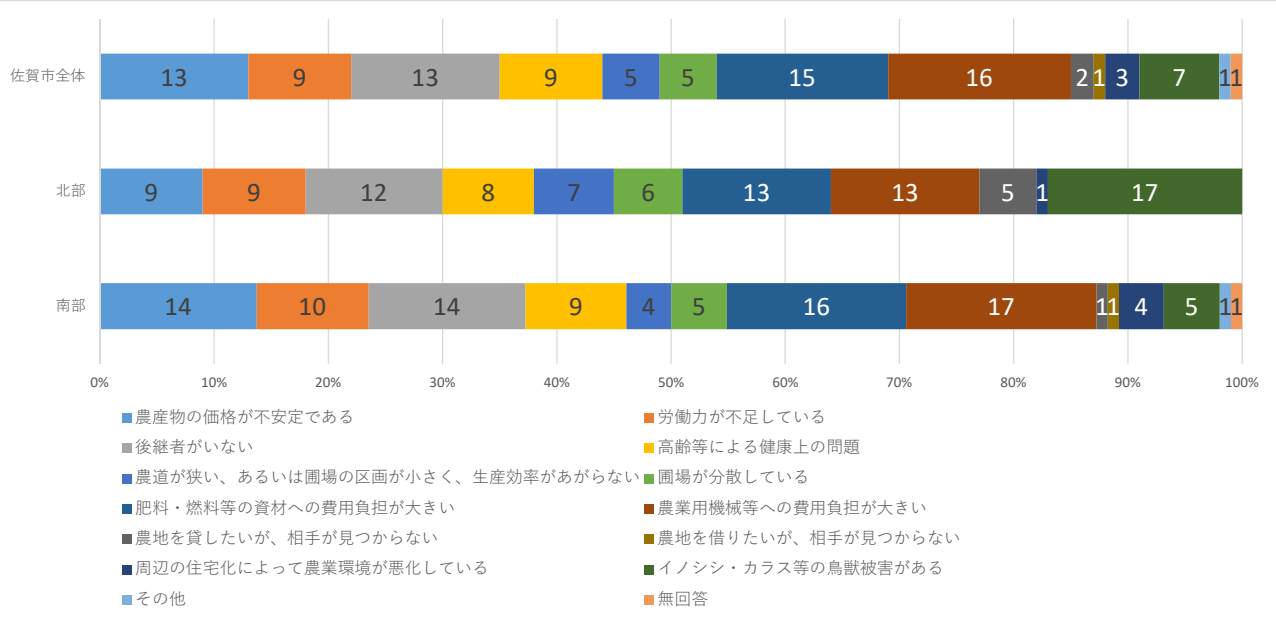
●北部中山間地域

・6次化で成功例は非常に少ない。

●南部平坦地域

・農作物をつくっていくことに精一杯でそこまで考える余裕がない
・高齢の為
・めんどう
・農業協同組合を応援したい。
・もう今で十分
・規模が小さい

Q３２　あなたが農業を行う上で問題となっていることは何ですか。（複数回答可）



その他

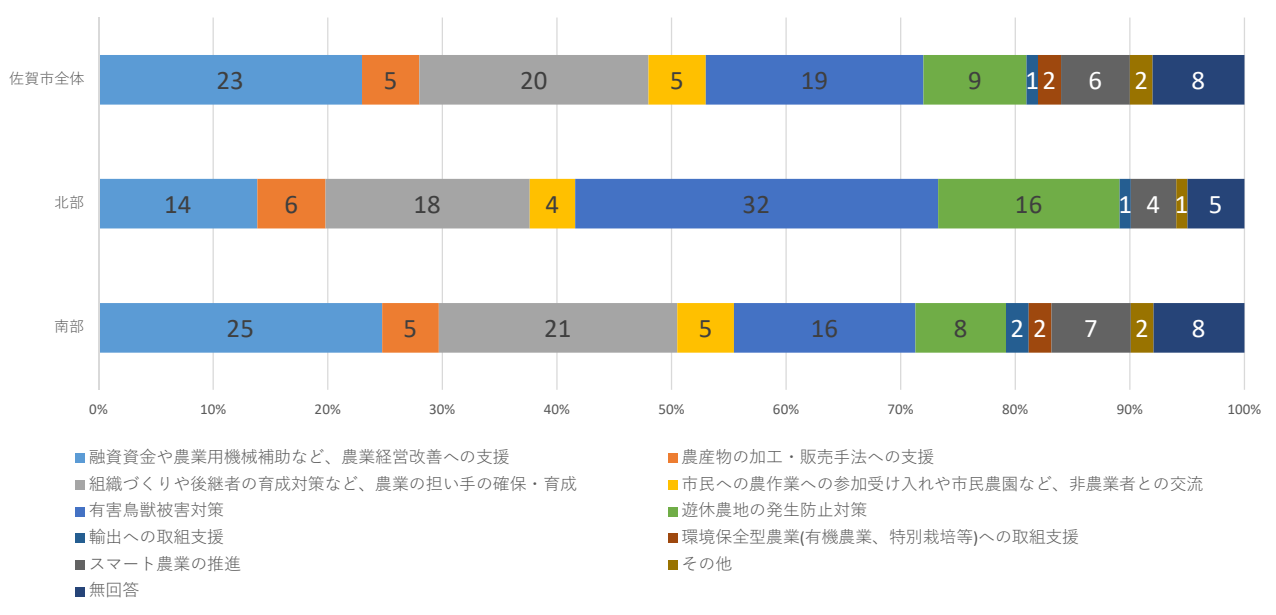
●北部中山間地域

・安い

●南部平坦地域

・カモのムギの食害
・農産物の価格が低い
・水田の田面均平(補助金があればと思っています。)
・農業収入が上がらない。
・農業では収入が少ない。
・集落営農組織の各員の考え方に温度差があり、組織運営が難しい。組織内での揉め事が多い。

Q33　佐賀市の今後の農業施策で重視してほしいことは何ですか。（複数回答可）



その他
●南部平坦地域
・肥料や農薬や機械や資材燃料の高騰
・勤めながら農業収益を得た場合、申告する手間や、時間の負担が思うより大きい（小規模なのに）
・①既存品種の見直し、②新品種導入の提言

また、その理由はなんですか。
●北部中山間地域
・議員立法による「棚田法」の活用が佐賀市内無し。中山間地区にとっては不利である。・県内の市町村は大部分で取り組み、農家への交付金等の取り組みがされていない。市の取り組みがないので問題である。
・近年、有害鳥獣が増えすぎている。
・遊休農地等からのイノシシの進入による被害が多くなっている。
・肥料等の値上げ等で購入を減す様に考えているが必要分をやはり購入しないと品質が悪くなるし、イノシシ等により被害も有り収量が少なくなったりしている。後継者等の問題も有り、少しづつでは有るが農業の有り方自体をスマート農業等に取り組む必要が有る。
・平担部と違い中山間地は圃場か小さく効率が悪い所があるので園場の基盤整備。・涌水で軟弱地があるのでその対策
・中山間地域は米が主体である。まずは米価格が上がらないと今後の中山間地域農業は厳しい。・高齢化、担い手不足が深刻である。今後農作業受託組織であるが、地域の農業者では運営が難しい。三瀬村全体、佐賀市北部地域全体の作業を受託（農地を借りるのがベスト）組織の設立が必要だと思う。・計画的な遊休農地の林地化が必要。・イノシシ、草刈り対策が農作業の大半をしめる。労力軽減を図れるよう、対策をお願いしたい。
・シロサギとイノシシ被害が最近多いので対策してほしい。
・猟友会の有害鳥獣対策だけでは、駆除数が伸びず何らかの施策が必要と見る。・スマート農業の推進と云いながらも、補助に対する年齢制限が多く高齢になればなる程、個人負担が大きく、あきらめざるを得ないことが多い。
・農業用機械(トラクター、田植機等)の買替えの時多額の資金が必要である為
・中山間地域では平坦地と比べワイヤーメッシュ柵管理、斜面が急で草刈作業が大変である。更に、高齢化担い手不足等により農地、農業用施設管理が5年後、10年後に本当にできるかもわからない。何らかの中山間地域対策の検討をお願いしたい。
・農業機械への負担が大きいため、機械利用組合の設立や共同経営の推進が必要ではないかと思う。
・担い手確保が出来なければ、農地は荒れてまい、他の農地へ迷惑をかけてしまう。

●南部平坦地域
・①農繁期・農作業中の車両の共有。この町は大半は農業の土地がらです。一般車の心ない行動で作業の中断が多々、有る傾局が問題化している。
②佐賀には特産品といった産物があまり無。県自体で特産物を推進・アピールしては?
・後継者がいない!
・スマート農業を取り入れることで、少しでも農作業への負担を少なくし後継者に農作業を魅力あるものにしていく。
・生産者は作物作りで努力しているので、行政は生産物のブランド化に力を入れ、他産地より高く販売できるように頑張っていただきたい。
・永年、米麦大豆の作付にて農作業を実施しておりますが、作付に見合う収益がなく、農業への意欲の低下があると思われます。機械代、肥料代の高騰もあり更に拍車をかけられ、このまま農業を続けてもとの不安があると思われます。現在も国の補助がなければ、作る事も出来ず又、トラクターコンバイン等の高額な機械購入もあります。基本作物の価格、収入が上がらなければ何も出来ないのでは？
・個人では負担が大きい
・佐賀市民に佐賀農業の成り立ち歴史を知ってもらい興味を持ってもらう取り組みか必要では。例えば成富兵庫等の存在を知ってもらい、佐賀農業に興味持ってもらうと同時に誇りに思ってもらい、地産地消に取り組んでもらう
・私のように、小規模な第2種兼業農家が、限られた時間で、効率的に作業が出来るようにする為に。
・規模拡大を行いたくても農業機械補助を受ける下限面積に届かず導入しづらい。
・洪水で畦畔が崩れることが多いが修繕するのは、自費て高額なのでそこはサポートして頂けると助かります。
・暗渠排水から水がまったく出ていない場所があるので工事をお願いしたい。
・農業経営体の経営改善、生産性向上が農業県佐賀の振興に繋がると考える為
・肥料や農薬や機械の値段の高さ、資材や燃料の値段の高さをどうにかして。
・後継者不足により、営農組合を立ち上げても、維持が難しくなっている団体もあるため
・農業機械、肥料、燃料の費用負担が大きい。カラス、カモの被害
・周辺の住宅地化で、農薬まくのも考える時がある。
・麦作時、カモの食害又カラスによる発芽不良田が多くある。
・ウクライナとロシアの戦争により農産物生産にかかる資材等が高騰したこと及び小麦価格等の高騰、不足によりこれまでのように食糧輸入ができなくなってきた。このことを路まえ、食糧安全保障の重要性が増してきたと感じる国民が増えてきていると思うので、この機会に自国で農産物を生産することの重要性を周知する必要性を感じている。国産の農産物を生産するためには、再生産が可能な価格も必要であると思う。
・トラクター等の設備更新をしやすくするため。
・機械が高すぎる。
・機械を導入する際の規約の緩和
・当地区は農事組合法人が地区内の大半の農地及び農作業を担当しているので、余剰生産物への付加価値をつける手法への支援が必要と思われる。
作業の能率化が経営の安定と人員不足を解消する方法と思われる。
・労働の短縮
・規模拡大したくても、農機が小さいままだったら、なかなか一歩がふみ出しづらい。
・支援や育成は担い手及び担い手希望者がいてできる事であり、生活基盤が安定しなければ担い手は育たないと思います。
・集落には担い手がいない為
・集落の農地保全と希望のある場合の自給自足の必要最少限の支援・JAの活用
・申告する手間や、時間の単純化
・地域北部集落としては有害島獣被害対策を立ち上げで対策していますがとくに非農家の人たちからの要望にて各自治会長からの願があり、有害島獣被害対策に取り組んでいる
・農業機械の価格が高くなっていっているから
・後継者がいない場合、農地売買、新規担い手のあっせん、紹介

・集落(近所同士)を中心とした組織づくりでは各員の考え方に相違があり、合意形成が図れない。（たまたま近所同士だったというだけの組織となっている。)よって今後は、考え方や志が同じ者同士の組織づくりが必要であり、担い手の流動化や企業、専門集団の参入を促す施策等を促進して欲しい。

・これから情報収集する立場であるため
・市民において、家庭菜園等の需要があるが、農園としての環境が整っていない。現状、道路上の高さまで水田から畑地へと埋立等ができることができれば、市民農園として、活用できるのでは。その為の埋立に関する補助金等があればいいと思うが。
・農地を守る為
・数年前から園芸施設に狸の被害が多く見られます。色々と対策していますがなかなか効果がありません。佐賀市としても捕獲等と対策をお願い致します。
・(カモ)による麦の食害対策・農産物の価格の低下(不安定)に対して農業用機械資材等(肥料燃料)の高騰対策
・今は部落の生産組合では、数軒の生産農家の機械購入に資金の補助を非生産農家の理解を得ることは出来ないので協同機械に付いては市で補動を出すことは出来ないのだろうか
・ほ場整備未実施区域のほ場整備で農地活用

Ｑ３４　その他、ご意見等ございましたら、自由にお書きください。

●北部中山間地域

・松梅は過疎地対象ともなっておらず、富士や三瀬に比べて不利であるが、市内の同じ山間地の格差が生じている。市には富士、三瀬同様の対応をしてほしい。

・以前、農地中間管理機構を活用して農地の受け手の状況を聞いたが、ほとんど無いと回答があった。山間部での担い手の確保は、ほぼむずかしいと思う。

・農業収入が見込めず、厳しいです。周りに迷惑をかけない様に維持していくのに精一杯の精神で取り組んでます。

・中山間での概存兼業農家への支援(専業が少なく兼業農家で山間地を維持しているため)

●南部平坦地域

・資材や肥料や農薬や燃料の高騰をどうにかして。経費がかさなって経営をあっぱくしてます。増税はしないで。

・市街他調整区域での田畑が多く、農地整備ができなくて中途半端な活用である。・組合のメンバーを離農者が多く、区役の行事が大変である。・地元では、開発を希望されている。

・増田生産組合では専業農家の後継者は1人しかいない。今回農業振興地域整備計画の見直しに係るアンケート調査票を頂だきましたが、集落の6割以上を医大用地に提供したため農地基盤を失なってしまい、残された田畑は地主が耕作しているのは数名であり、今後残された水田等維持は相当に問題が出てきており、医大東の地権者を集めて、アンケートの調査をした所、ほとんどの地権者の方々が除外を希望される結果となりました。住宅の方々の快適な生活を守る為にも今回の結果を重要視した対応をお願い致します。

・農業委員サポーターの頃から委員会には再三にわたりお話ししておりましたが青地というだけで話にされませんでした。今回農業振興地域の見直しということで私事ではありますか地図をそえておきますので是非現地確認をしていただきますようお願いします。私の農地の隣接しているK氏も同様なことを言っておられました。

・農業機械等、高額な物の補助金の拡充と広報をして頂きたい。農業だけで生活できる、魅力ある農業の推進と指導。

・耕作放棄地等を青地~白地になるようにしてほしい。白地～雑種地(宅地)=耕作放棄地を無くす。

・ここ数年の米価低迷資材の高止まりで農業経営は行き詰っている。当方の集落営農でもここ10年で組合員が減った。離農した農地を残った組合員で分担して耕作しているが、もう限界、赤字が増えるだけ。生産性の低い農地から徐々に放棄地が増えるのは当然の成り行きであろう。

・農地を守るためだけの農家ですが、全体の何%位が該当しているでしょうか?そのような兼業農家を守る仕組みが必要ではないでしょうか。

・高齢化で今後の組合が不安であるので、農福連携の説明会を行なってもらいたい。人手不足が大きな問題である。また、若い人に興味をもってもらえる様に収入の安定、補償を充実してほしい。

・元来ほとんどが農業だった地区に、新しい入居者（会社員）が来て、従来の農作業に苦情を言う。

・中山間地域は集落内の農地の保全だけでも困難な状況であり必要最小限でも良いので個人配分は止めてと集落への支援がほしい

・国、県はもっと農業のことを考えてもらいたい。担い手の問題このままでは、農業は、衰退していく、収入を上げる。他は分価は、上がっているのに未だ他は下がって行く、畑地化の問題、このままだと荒地が増える。一度荒した土地はすぐにはもどせない、将来、食料危機、異常気象、国はどう考えているんだろう。

・農作業中の道路の譲り合がなっていない。地域による呼びかけなど改善を求める。田んぼは人の所有地です。一般のゴミの投棄が目立つ所が多々有。地域振興の方で対策など出来ないか?

・JAに農業法人を作って欲しい。

・今の農業は補助金をもらい裕福に見えますが手取は少ない。自分達農業者は農産物を売り自分で収入を得たいのです。

・農業の現場で困っているジャンボタニシの対策、近年に見られるカモ被害の対策等の先進的な対策情報を流していただきたい。